



6日目 親切

フィリピ2：1—11

執り成しの祈りのヒント

神の命じられることはすべて、神ご自身が実現なさることを覚えましょう。
ほかの約束についても同じように祈り求めましょう。

- ▶ 他人にしてほしいと望むことを、わたしたちも行うようにと呼びかけられている神を賛美しましょう。
「人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい」(ルカ6：31)
- ▶ 親切であるために必要な強さを与えてくださる神を賛美しましょう。
「なぜなら、わたしたちは神に造られたものであり、しかも、神が前もって準備してくださった善い業のために、キリスト・イエスにおいて造られたからです。わたしたちは、その善い業を行って歩むのです」(エフェソ2：10)
「あなたがたは神に選ばれ、聖なる者とされ、愛されているのですから、憐れみの心、慈愛、謙遜、柔和、寛容を身に着けなさい」(コロサイ3：12)
- ▶ 自分に対する神の優しさを知ることのできた具体的な状況について、賛美しましょう。わたしたちを非の打ちどころのない者とし、再臨の時までそのような者とし続けてくださる神を賛美しましょう。
「どうか、平和の神御自身が、あなたがたを全く聖なる者としてくださいますように。また、あなたがたの霊も魂も体も何一つ欠けたところのないものとして守り、わたしたちの主イエス・キリストの来られるとき、非のうちどころのないものとしてくださいますように。あなたがたをお招きになった方は、真実で、必ずそのとおりにしてくださいます」
(Iテサロニケ5：23—24)
「あなたがたの中で善い業を始められた方が、キリスト・イエスの日までに、その業を成し遂げてくださると、わたしは確信しています」(フィリピ1：6)
- ▶ 自分の家族や敵に対して親切であるため、必要な強さを神に祈り求めましょう。

「しかし、あなたがたは敵を愛しなさい。人に善いことをし、何も当てにしないで貸しなさい。そうすれば、たくさんの報いがあり、いと高き方の子となる。いと高き方は、恩を知らない者にも悪人にも、情け深いからである」(ルカ 6 : 35)

- ▶ あなたに対して不親切な人はいますか。その人に対して、どうすれば親切でいることができるのか、神に教えていただきましょう。また、神があなたの心に、その人をゆるす思いを与えてくださるよう、祈りましょう。

「兄弟愛をもって互いに愛し、尊敬をもって互いに相手を優れた者と思いなさい」
(ローマ 12 : 10)

「互いに親切にし、憐れみの心で接し、神がキリストによってあなたがたを赦してくださったように、赦し合いなさい」(エフェソ 4 : 32)

- ▶ 見知らぬ人に対して親切でいることができるよう、神にその方法を示していただきましょう。
「兄弟としていつも愛し合いなさい。旅人をもてなすことを忘れてはいけません。そうすることで、ある人たちは、気づかずに天使たちをもてなしました」(ヘブライ 13 : 1—2)

- ▶ 神があなたを新しく造りかえ、新しい心を与えてくださるよう祈りましょう。より親切でありたいと願っている相手について、神に打ち明けましょう。

「だから、キリストと結ばれる人はだれでも、新しく創造された者なのです。古いものは過ぎ去り、新しいものが生じた」(Ⅱコリント 5 : 17)

- ▶ キリストの方法である包括的な健康伝道について、教会員がキリストの奉仕の模範に従い、人々の必要を満たしていくため、より深い理解が与えられるよう祈りましょう。

「主はわたしたちにこう命じておられるからです。『わたしは、あなたを異邦人の光と定めた、あなたが、地の果てにまでも／救いをもたらすために』」(使徒言行録 13 : 47)

「イエスは重ねて言われた。『あなたがたに平和があるように。父がわたしをお遣わしになったように、わたしもあなたがたを遣わす。』そう言ってから、彼らに息を吹きかけて言われた。『聖霊を受けなさい』」(ヨハネ 20 : 21—22)

- ▶ 一般の学校に通うセブンスデー・アドベンチストの青年に対する霊的なサポートが豊かに増し加えられるよう祈りましょう。世界中の一般の大学において、アドベンチストの青年たちが他者に仕える活動的な宣教者となることができるよう、祈りましょう。

「だから、わたしたちの主を証しすることも…恥じてはなりません」(Ⅱテモテ 1 : 8)

「神の御前で、そして、生きている者と死んだ者を裁くために来られるキリスト・イエスの御前で、その出現とその御国とを思いつつ、厳かに命じます。御言葉を宣べ伝えなさい。折が良くても悪くても励みなさい。とがめ、戒め、励ましなさい。忍耐強く、十分に教えるのです」(Ⅱテモテ 4 : 1—2)

- ▶ わたしたちの意志ではなく、神のみ心が完全に達成されるため、教会員全員が、聖書の学びと祈りに、より多くの時間を使うことができるよう、祈りましょう。
「聖書はすべて神の霊の導きの下に書かれ、人を教え、戒め、誤りを正し、義に導く訓練をするうえに有益です。こうして、神に仕える人は、どのような善い業をも行うことができるように、十分に整えられるのです」(Ⅱテモテ3：16—17)

- ▶ 都市伝道のために
南アメリカ支部と、南太平洋支部、また、その宣教対象都市のために祈りましょう。
シドニー（オーストラリア）、クライストチャーチ（ニュージーランド）、ラエ（パプアニューギニア）、アピア（サモア）
神が働き手を送り、宣教のための努力を祝福してくださるよう、祈りましょう。
「わたしを世にお遣わしになったように、わたしも彼らを世に遣わしました」(ヨハネ17：18)

- ▶ 個人的な必要など、心のうちにあることについて祈りましょう。
「わたしたちの内に働く御力によって、わたしたちが求めたり、思ったりすることすべてを、はるかに超えてかなえることのおできになる方に、教会により、また、キリスト・イエスによって、栄光が世々限りなくありますように、アーメン」(エフェソ3：20—21)

- ▶ み名において、そのみ心に従って祈るときにはいつでもそれを成しとげてくださる神を賛美しましょう。
「何事でも神の御心に適うことをわたしたちが願うなら、神は聞き入れてくださる。これが神に対するわたしたちの確信です。わたしたちは、願い事は何でも聞き入れてくださるということが分かるなら、神に願ったことは既になんかえられていることも分かります」
(Ⅰヨハネ5：14—15)

祈りの時間の終わりに、祈りのリストにある7人のために、2～3人のグループで祈りましょう。彼らが、親切と優しさをキリストから学ぶことができるよう祈りましょう。彼らのために、Ⅰヨハネ3章18節を心に留めましょう。「子たちよ、言葉や口先だけではなく、行いをもって誠実に愛し合おう」。もし、大人数で共有することがためらわれる祈りの課題があれば、パートナーにそれを打ち明け、祈り合いましょう。

讃美歌	「わが主のつばさのかげに」	(希望の讃美歌 312 番)
	「祈りの言葉」	(希望の讃美歌 355 番)
	「わが目を開き手」	(希望の讃美歌 152 番)
	「うたえ主の愛」	(希望の讃美歌 256 番)

親切に関するエレン・G・ホワイトの言葉

「霊の結ぶ実は…親切…です」(ガラテヤ 5 : 22)

「自己中心を克服し、勝利をおさめるという大きな働きの中で、わたしたちが支えを最も必要とするときに、主はすべての者を助けてくださいます。優しさの原則があなたの唇に、恵みの油があなたの心にあるようにしなさい。これは、すばらしい実りを生み出すものです。あなたは思いやりと同情にあふれた、礼儀正しい人となるでしょう。あなたは、これらすべての恵みを必要としています。聖霊を受け入れ、品性のうちにお招きしなければなりません。それは聖なる炎のようになり、神のみ前に立ち上る薫香をもたらします。その煙は、とがめる者の唇からではなく、人の魂を癒す者から生まれるものです。あなたの表情は、神のかたちをうつし出すものとなります」

(*Ye Shall Receive Power*, p. 81)

「辛辣な言葉、批判的で、無遠慮な、とげとげしい言葉を使ってはいけません。これは聖別されていない火ですから、わたしたちの兄弟姉妹との会話や言葉のやり取りの中から取り除かれなければなりません。神は、神に仕えるすべての魂に対して、聖なる炎の炭火から香炉に火をつけるようにと求めておられます。唇から容易に発せられてしまう、聖別されていない、とげとげしい、不快な言葉は、差し控えられるべきであり、神の霊が人間を通して語るようにすべきです。キリストの品性を眺めることによって、あなたはキリストの似姿へと変えられていくでしょう。キリストの恵みだけがあなたの心を変えることができます。そして、あなたは主イエスのみかたちをうつす者となるのです。神は、純粹で聖く、汚れのないキリストに似た者となるよう、わたしたちを招いておられます。わたしたちは、神のみかたちをそなえた者となるのです」

(*Ye Shall Receive Power*, p. 81)

「イエス・キリストは、わたしたちの唯一の助け手です。その恵みによって、わたしたちは愛を深め、優しく穏やかに語るよう、自らを教え育てることができます。その恵みによって、わたしたちの冷たく、とげとげしい態度は変えられていくのです。優しさの原則が唇にあり、聖霊の尊い影響のもとにある者は、泣くものと共に泣き、喜ぶものと共に喜ぶことが、決して弱さの表れではないということを感じます。わたしたちは、自らの品性を天の高みにまで養い育てなければなりません。わたしたちは、すべての人に善意をもって接すること、他者の生涯において陰ではなく陽光となることを心から願うことの意味を、学ばなければなりません」(*God's Amazing Grace*, p. 299)

「周囲の人々にあなたの好意を分けあたえ、彼らの幸福に貢献するすべての機会を生かしなさい。優しい言葉、思いやりのある目つき、感謝の表現は、葛藤と孤独の中にある多くの人々にとって、渴いた魂を潤す一杯の冷たい水のようなものです」(*God's Amazing Grace*, p. 299)

「救い主の輝く光のうちに生きなさい。そうすれば、あなたによって、世界は祝福を受けるでしょう。キリストの霊に支配されなさい。優しさの原則がいつでもあなたの唇にあるようにしなさい。

自制と無我の心は、キリストによって新しい命へと生まれ変わったものたちの言葉と行いを特徴づけるものです」(God's Amazing Grace, p. 299)

「わたしたちは聖霊の祝福について語り、それを求めて祈るかもしれませんが。しかし、神の霊が働きかけることがない限り、その人のうちに神がおられないことが周囲に示されてしまうのです。聖霊が神の似姿にかたどって人の品性を作り上げ、形成していくとき、その発するすべての言葉と、行うすべての行為のうちに、神ご自身が間違いなく表されます。そして、光の子と闇の子の間の重大な違いが、世界に示されるのです。主は、聖徒たちにかつて与えられた信仰に、わたしたちが堅く立つことを求めておられます。わたしたちは、愛に根ざして語らなければなりません。わたしたちの偉大な教師はこのようにおっしゃいました。『わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである』(マタイ 11 : 29—30)」(Ye Shall Receive Power, p. 81)

個人的な考察のための質問

1. あなたは、親切な人として知られていますか。誰かに不親切にされた時、どのように応じますか。神のもっておられる親切さを、自分のうちに表したいと思いませんか。どうすれば親切でいることができるのか、神に教えていただきましょう。神の約束を自分のものとして信じましょう。
2. 誰かに親切さを示すことのできる事からのリストを作りましょう。そして、親切にするのがためられるような相手に対して、神の親切心を示す機会が与えられるよう、祈りましょう。